



感謝

大田区立糀谷中学校 三年 稲吉 彩羽

みなさんは毎日学校に通い勉強できていることを当たり前だと思っ
ていませんか。世界には勉強がたくてもできないという子供がたくさん
います。日本で「義務教育」と言われる6才から15才までの9年間でか
かる一人あたりの教育費用は約八百四十五万円です。日本ではこれら
のお金が税金によって支払われているのです。

中学一年生の春、最初の授業でたくさん教科書が配られました。その
時担任の先生が言った「教科書のうらを見てみて。」この教科書は、こ
からの日本を担う皆さんへの期待をこめ、税金によって無償で支給され
ています』と書いてあるでしょう。」という言葉を中学二年生になった今
でも覚えています。今、日本を支えている大人のみなさんが私達が日本を
支える立場になれるように、なった時に困らないようにと私達の将来を
考え、税金を納めてくれているのだと思いました。税金は今日本を支えて
いる大人と今後支えていく子供をつなぐバトンのようだと感じます。

教育に使われている税金をくわしく調べてみると、教科書だけでなく
校舎の建設代やいす、机の購入費用などにも多くの税金が使われている
ことを知りました。同時に教育のために年間五兆円以上の税金が使われ
ていることも知りました。私達が無償で教育をうけられていることは決

して当たり前のことではないと考えさせられました。

私に身近な税金は消費税で、商品のお金に加えて支払わなくてはなら
ないのであまり良いイメージはありませんでした。ですが、消費税の他に
も税金にはたくさん種類があり、その中の一つが私達の教育のために使
われていることを知り、税金とはまったく異なるものではなくて、みんな
が快適に過ごすためには必要不可欠なものだと考えるようになりました。

学年が変わることに配られる新しい教科書、一人一人が所持している
タブレット、いすや机、部活動で使う道具などの費用にたくさん税金が使
われています。なぜ私達のためにこんなにもたくさん税金を使って
もらえるのか、それは「私達の将来に期待」をもらっているからだと思
います。教科書のうらに書かれている言葉の通りこれからの日本を担
う立場になる私達に期待をしてくれているのです。

学校に通いたくても通えない、勉強したくてもできないという状況に
置かれている子供が世界中に多くいる中、こうして大人のみなさんから
の期待で税金を納めてもらって良い環境で勉強できていることに感謝を
したいです。税金は今日本を支えている大人と今後支えていく子供とを
つなぐバトンだと思います。このバトンをしっかりと受けとり、自分が大
人になり日本を支える立場になった時には、子供たちにバトンをわたせ
る立派な大人になりたいです。